

# 計 算 書 類

( 第 13 期 )

平成 25 年 4 月 1 日から

平成 26 年 3 月 31 日まで

アストライ債権回収株式会社

# 貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	2,416,691	流動負債	101,252
現金及び預金	142,877	未払金	83,033
買取債権	2,233,660	未払法人税等	9,875
前払費用	711	未払費用	1,081
仮払金	39,109	賞与引当金	2,390
その他	331	その他	4,871
固定資産	12,201	固定負債	1,296,430
有形固定資産	6,586	長期借入金	1,295,000
建物	2,064	長期未払金	1,430
器具備品	4,521		
無形固定資産	2,696	負債合計	1,397,682
ソフトウェア	1,727	(純資産の部)	
電話加入権	969	株主資本	1,031,210
投資その他の資産	2,918	資本金	2,500,000
関係会社株式	100	資本剰余金	2,000,000
敷金及び保証金	498	資本準備金	2,000,000
長期貸付金	1,000	利益剰余金	△ 3,468,789
その他	1,320	その他利益剰余金	△ 3,468,789
		繰越利益剰余金	△ 3,468,789
		純資産合計	1,031,210
資産合計	2,428,892	負債・純資産合計	2,428,892

# 損益計算書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
営業収益		
買取債権回収額	3,012,537	
その他の営業収益	1,350	3,013,888
営業費用		
買取債権原価	2,255,834	
販売費及び一般管理費	505,679	2,761,514
営業利益		252,373
営業外収益		
受取利息	163	
その他	4,476	4,640
営業外費用		
支払利息	38,771	
その他	106	38,878
経常利益		218,136
税引前当期純利益		218,136
法人税、住民税及び事業税	76,670	76,670
当期純利益		141,466

## 【重要な会計方針】

1. 有価証券の評価基準及び評価方法  
関係会社株式 移動平均法による原価法
2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
買取債権 個別法による原価法
3. 固定資産の減価償却方法  
有形固定資産 定率法  
無形固定資産  
ソフトウェア 定額法
4. 引当金の計上基準  
賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。
5. 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しております。なお、控除対象外消費税等は当期の費用として処理していません。
6. 連結納税制度の適用  
連結納税制度を適用しております。

## 【誤謬の訂正に関する注記】

- (1) 誤謬の内容  
当社は2006年度から2013年度において、過去の簿価損及び貸倒償却等の会計処理が誤っていたことが判明致しました。この誤謬を訂正するため、期首の利益剰余金を減額させております。
- (2) 当事業年度の期首における純資産の額に対する影響額  
影響額については、「株主資本等変動計算書」の「誤謬の訂正による累積的影響額」に記載しております。

## 【貸借対照表に関する注記】

1. 有形固定資産の減価償却累計額 31,133 千円
2. 関係会社に対する金銭債権債務  
長期金銭債権 1,149 千円  
短期金銭債務 53,234 千円  
長期金銭債務 1,295,000 千円
3. 取締役に対する金銭債権債務  
短期金銭債務 3,995 千円  
長期金銭債務 1,430 千円
4. 千円未満の端数は、切り捨てて表示しております。

## 【損益計算書に関する注記】

1. 関係会社との取引高  
営業取引 287,976 千円  
営業取引以外の取引高 37,621 千円
2. 千円未満の端数は、切り捨てて表示しております。

## 【税効果会計に関する注記】

繰延税金資産の主な発生の原因は、繰越欠損金であります。  
なお、繰延税金資産に対する評価性引当額 464,955 千円を計上しております。

## 【金融商品に関する注記】

### 1. 金融商品の状況に関する事項

#### (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については預金等の安全性の高い金融資産に限定し、また、資金調達については親会社からの借入による方針であります。

#### (2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

借入金は、主に運転資金に係る資金調達であり、金利の変動リスクに晒されておりますが、全て親会社からの借入であります。金利は、市場金利等を勘案し、6ヶ月毎に見直しを行っております。

### 2. 金融商品の時価に関する事項

平成26年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
現金及び預金	142,877	142,877	-

#### (注) 1. 金融商品の時価の算定方法に関する事項

##### (資産)

##### 現金及び預金

預金は、全て短期であるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

#### 2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

	貸借対照表計上額
長期貸付金(※1)	1,000
長期借入金(※2)	1,295,000

(※1)株式会社アセットアーツへの貸付金1,000千円(平成26年12月31日を期限とする総額600,000千円のコミットメント契約に基づくものであり、契約期限については、期日到来時に更新する予定)であり、同契約は極度方式であるため、将来キャッシュフローを見積ることが極めて困難と認められるため、時価の開示を行っておりません。

(※2)アイフル株式会社からの借入金1,295,000千円(平成27年3月31日を期限とする総額6,000,000千円のコミットメント契約に基づくものであり、契約期限については、期日到来時に更新する予定)であり、同契約は極度方式であるため、将来キャッシュフローを見積ることが極めて困難と認められるため、時価の開示を行っておりません。

#### 3. 長期貸付金及び長期借入金の決算日後の返済予定

長期貸付金及び長期借入金は、「2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品」の(※1,2)に記載の通り、返済予定が決定していないことから記載しておりません。

## 【関連当事者との取引に関する注記】

親会社

(単位：千円)

属性	会社等の名称	議決権の所有(被所有)の割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	アイフル株式会社	(被所有) 直接 100	資金の援助 役員の兼任	資金の借入(注) 利息の支払(注)	3,885,000 37,474	長期借入金 -	1,295,000 -

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) アイフル株式会社からの資金の借入については、市場金利等を勘案した利率(6ヶ月毎見直し)による極度額契約を締結しております。

## 【1株当たり情報に関する注記】

1株当たり純資産額	11,457円89銭
1株当たり当期純利益	1,571円85銭

## 【重要な後発事象に関する注記】

該当事項はありません。